

あれ、もしかして冬に自分で場所決めたのって初めて？

八ヶ岳 天狗尾根

今週はクリスマス。山に行かずにはいられない…

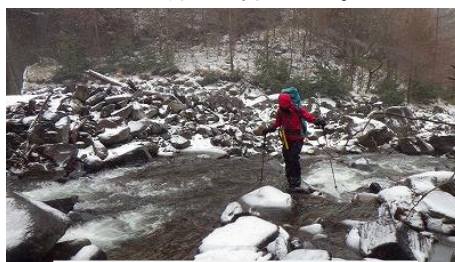
自分の力でも行けそうな雪稜を、ということで八ヶ岳天狗尾根を選択した。

竹澤さんを誘っていたが、なんか4人で行くことになった。女性3人に混ぜてもらおうようなパーティになりました。

木曜夜に出発するが凄しい雨。高速も50km速度規制がかかり時間がかかる。沢だったらこんな雨の中では絶対に現地に向かわないだろうな…と山に向かっているのが不思議な気分だった。

12月23日(金)：晴れのち雪

朝起きると快晴。今日は出合小屋までなので、ゆっくりと準備をして出発する。小屋までの道のりには渡渉が何度も何度も出てきた。雪が少ない时期的な影響かと思ったが、帰りのときにはほとんど水が引いていたので、昨夜の雨の影響だろう。



ドボンした人がいたとか

12月24日(土)：晴れのち曇り

宴会もたっぷりしたが、睡眠もたっぷり取って起床、出発。赤岳沢に沿って進んでいくが、沢には滔々と水が流れているので左岸を進む。テープが結構あるのでわかりやすい。そろそろ天狗尾根に取り付けないかなと思ったあたりから右岸を歩いていると、ヘッドランプに反射して光るものを発見。近づいてみるとテープだった。ここがルンゼ状になっており、天狗尾根への取りつきだ。夜間から行動すること前提での反射テープ。親切すぎる、が有り難い。



快晴、快晴！

ここは急登だが体が温まって調度良い。すんなり天狗尾根に乗ることができ、登山道のような尾根を進む。ここからしばらく樹林帯の歩きだ。

カニのハサミの基部でハーネス装着。怖いトラバースがあるらしいが、雪がないからか全く問題ない。第一岩峰の登りでは、トラバースに残置ロープが張られている。ちょっとワンポイント悪いがひよいと越し、ダブルアックスで少し登る。そして樹林帯を抜けるとモノクロの世界になる。岩が荒々しくてカッコイイ！皆のウェアが鮮やかに映える。

少し進むと第二岩峰への登りになる。第一岩峰の所で追いついていた先行パーティが登り始めたので、自分たちは5m位の階段状の岩場を登り、すぐに尾根に乗り直すルートをとった。ロープもこのワンポイント出すだけでいいので、すぐに通過できた。

そして大天狗に到着。大天狗を左端ぐらいから登ればわけなく登れるが、下降が懸垂を必要そうなので止めておいた。おとなしく定石通り右から巻くように登る。ここの巻きのために登るところ

【日程】

2016年12月23日(金)
～12月25日(日)

【メンバー】

萩原(主)、竹澤、
福永、松本

【地形図】

八ヶ岳東部・西部

【記】萩原

は少し嫌らしかった。全装背負っていたらちょっと怖かったかも。

ここを過ぎるとあとは普通の歩きの尾根。楽しみながら稜線に到達した。

時間はなかったので赤岳には行かず、そのままツルネ東稜に向かい下降し始める。ツルネ東稜にもテープはたくさんあるので、しっかり見失わないようにいけば迷わず下れる。…僕は自分を信じて行ったら少し間違えてしまい、登り返しを強いてしまった。ここで竹澤さんは胃が痛いらしくペースが遅れる。が、ちょっと遅くなってしまったけど問題なく皆出合小屋に戻ってくることができた。



第二岩峰への登りでは岩場を登って尾根に乗り直す

12月25日(日): 晴れ

今日は帰るだけ、なのでゆっくり食事を楽しみ、クリスマスということでケーキをたくさん食べた。いや土曜も食べていたんですが、日曜は竹澤さんがしっかりトッピングをしたケーキを作ってください、ゆったりした朝を楽しんだ後下山した。松本さんは生クリームとスポンジがダメなのにケーキありがとうございます。福永さんは素晴らしい食べっぷりでした。いいのか。

天狗尾根は道はわかりやすいし迷う心配はない。岩登りも2ポイント気をつけるだけなので、10~20mのロープがあればよさそう。ベテランがいない状態での冬のバリエーションは初めてだったので、これぐらいでも程よく緊張して楽しめる山行でした。しかしケーキを食べすぎ、墮落した小屋生活を送ってしまった。…幸せだったからいいか。

【行程】

12/23 美し森駐車場(8:10)~出合小屋(11:50)

12/24 出合小屋(5:00)~第一岩峰(8:40)~第二岩峰(10:00)~稜線(11:50)~ツルネ東稜(14:00)~出合小屋(17:30)

12/25 出合小屋(8:40)~美し森駐車場(10:30)



「天狗尾根を望む三人の女性」
いったい何を思うのか



代表して竹澤さんのケーキ